

○三重県の行進、松阪と鈴鹿から津市入り。

午前は津市久居の自衛隊駐屯地まで15人で行進し、「要求書」申入れ行動。人数は少なかったですが、内容は「平和憲法下の自衛隊の本分をはずれるな（軍人精神称揚の碑の撤去、軍事パレードするな等）」、「みなさんを戦地に派兵させないようがんばる」という二本立ての柱。主催者国民の監視と激励の視線を自衛隊に意識させる重要な取り組み。通し行進者の紀平孝子さんも参加された。責任者は地元在住の女性Kさん。

○メインコース、松阪駅での出発式は50人、市職員が10人。松阪のみなさんは選挙戦の直前で多忙にもかかわらず多くの方が結集された。その後20人で行進し、うち9人が来津されたので生協病院にもお願いして2台のクルマで三雲へお迎え。エンマ堂前ではこの間、初めての松阪と津の引き継ぎ式をし、生協病院前では50人で歓迎式。病院のみなさんからお茶を接待いただいた。集会進行もきちんとしていた。

○北勢コースは鈴鹿のみなさんが体育館から53人で行進（他に送迎が11人）。昼食後の河芸公民館からは13人。今年の北勢宣伝カーは軽四に代わったので狭い道を通りやすかった。このほうがいい。その後3人で津市へ。自治会館から16人で行進。久居もここも相変わらず人数が少ない。県内で唯一崩壊状態の津市原水協の再建が急務です。事務局態勢の弱い県がみずからの仕事と津市原水協の任務を同時にこなすことは困難があります。来年の行進までの重要課題です。津市のみなさん、どうかご協力を。

○なお、今年の行進はコープみえの事情で好評の黄色い風船がなく（14日の津市は別）、みなさんさびしい思いをしています。「しあわせの黄色い風船」は三重県の平和行進のシンボルになってきたので、来年はぜひ用意してほしい。

○2時に3コースが、先に開いていたコープみえの「ハート平和行進出発集会」に合流。うたごえ協議会のみなさんの明るい歌声とコープみえのみなさんの黄色い風船で迎えてくれた。やはり歌声と風船があると雰囲気が盛り上がる。約180人。津市長からのメッセージと市長・議長からの協賛金を頂いて県勤労者福祉会館へ100人で出発。

○終結集会では三重県知事からのメッセージを受け、わかやま市民生協の通し行進者と鈴木さん、紀平さんからスピーチ。田中も「ヒバクシャ国際署名」の意義を訴えた。閉会後はコープみえさんの主催で「通し行進者との懇親会」。今年は17人もの方が参加され、こもごも平和への想いを出し合いあった。なかでも三友会の坂牧さんの被曝体験のお話は出席者の胸を打っていた。みなさんも地域で三友会の方のお話を聞く機会を設けてください。

○15日は13:00に県庁前集合、亀山に向けて出発します。あと3日。通し行進者もみえ労連の宣伝カーも順調。お天気も好天に恵まれてさいわいですが、熱中症対策を。

○平和行進は沿道へのアピールも大事ですが、交通渋滞やクレーマー対策を考慮し、行進責任者は何よりも行進団が安全・確実に目的地に到着できるよう配慮してください。幟、旗などが通行車の邪魔にならないよう、みなさんに徹底してください。

○署名付き沿道チラシがすでに19筆、事務局に郵送またはファクス送信されてきています。忘れずに配布してください。